

1 次の の中にあてはまる数を入れなさい。

(1) $40 + 40 \div 8 - 3 = \text{ }$

(2) $360 \div \{ 30 - (10 - 8 \div 2) \} = \text{ }$

(3) $3 - \left(3 - \frac{21}{25} \div 0.7 \right) \div 1.2 = \text{ }$

(4) $\left(1\frac{1}{3} - 0.75 \right) \times \left(2\frac{2}{5} + 12 \div 1.25 \right) = \text{ }$

(5) $1\frac{3}{4} \times 1\frac{1}{2} + 1.75 \times 1\frac{1}{3} + 1\frac{1}{6} \times 1\frac{3}{4} = \text{ }$

2 次の の中にあてはまる数を入れなさい。

(1) $\frac{1}{2}, \frac{2}{3}, \frac{3}{4}, \text{ }$ の4つの数の平均は $\frac{5}{8}$ です。

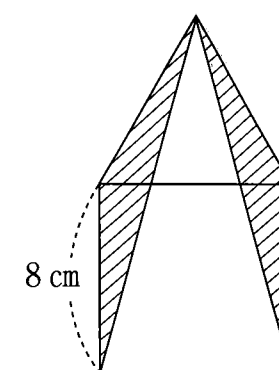
(2) 0, 1, 2, 3, 4 の5つの数字から異なる2つを選び2けたの整数をつくる時、偶数は全部で 個できます。

(3) 現在、姉と妹の年齢の差が8才で、ちょうど4年後に2人の年齢の比が3:2 となると、現在の姉の年齢は 才です。

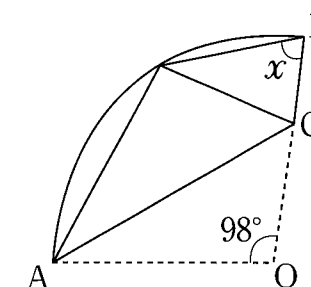
(4) A, B, C の3つの数があります。A と B の和は22で、C から A を引いた差は14, C から B を引いた差は18です。このとき、A, B, C の3つの数の和は です。

(5) 10円玉と50円玉と100円玉と500円玉の4種類すべての硬貨を全部で20枚使って990円をつくるには、10円玉が 枚必要です。

(6) 右の図は、1辺の長さが等しい正三角形と正方形の1辺を重ねたものです。このとき、斜線部分の面積の合計は cm^2 です。



(7) 右の図は、点Oを中心とする円の一部分を、ACを折り目として点Oが円周上にくるように折り重ねたものです。このとき、角xの大きさは 度です。



3 あるお店で、昨日まで1個500円で売っていたお弁当を今日は3割引きで売ったところ、昨日よりも40個多く売れて、売り上げは2900円増えました。昨日売れたお弁当の個数を求めなさい。

4 水族館のきっぷ売り場に並んでいる220人の行列に毎分3人ずつ人が増えていきます。窓口を2つだけ開けると20分で行列がなくなるとき、窓口を1つだけ開けると行列がなくなるのに何分かかりますか。

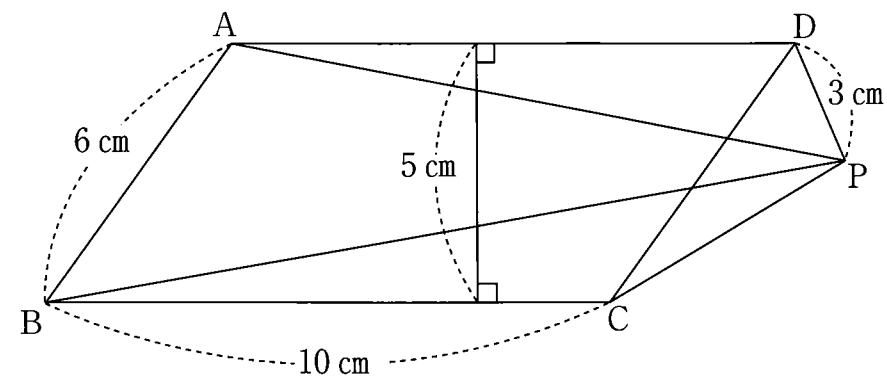
5 2つの容器A, Bがあります。Aには容器いっぱい、Bには容器の半分まで水が入っています。この2つの容器から同じ量の水をとり出すと、Aには容器の $\frac{1}{4}$ の水が残り、Bには容器の $\frac{2}{7}$ の水が残りしました。2つの容器A, Bの容積の合計が 450cm^3 のとき、次の問いに答えなさい。

(1) 容器Aと容器Bの容積の比を、もっとも簡単な整数の比で表しなさい。

(2) 容器Aからとり出した水の量を求めなさい。

6

下の図の四角形ABCDは平行四辺形です。三角形ABPと三角形DCPの面積の差を求めなさい。



7

下の図のように、正三角形のカードを並べ、

1段目に 2

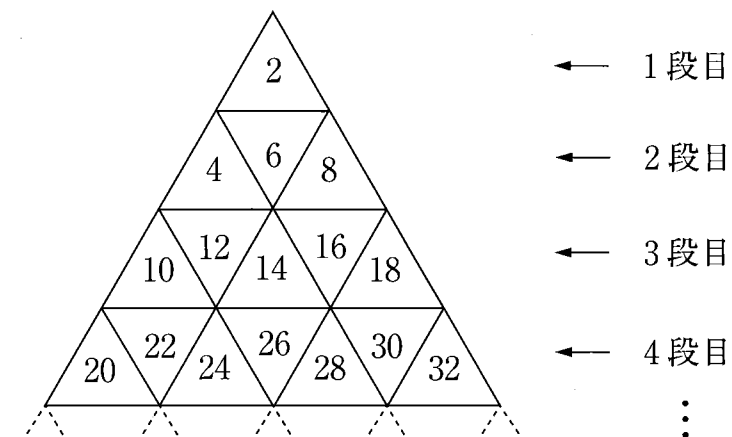
2段目に 4, 6, 8

3段目に 10, 12, 14, 16, 18

.....

というように、順番に偶数を書きました。

このとき、次の問いに答えなさい。



(1) 8段目には正三角形のカードが何枚並んでいますか。

(2) 11段目のすべての正三角形のカードに書かれている偶数の和を求めなさい。

(3) 300と書かれている正三角形のカードは、何段目の左から何番目にありますか。